

自己形成スキル（SSE）

第9回

第3ステップ課題 「マイ・ブックレビュー」解説



1. ブックレビューの要素

① 図書内容の紹介:

盛り込まれている情報や、著者による主張・新たな視点などを簡潔に述べる

② 評者自身のコメント:

図書がもつ長所・短所や、読み手から提起したい視点などを簡潔に述べる





①「図書内容の紹介」:

本の著者が語った内容を客観的に要約したもの。
読み手(書評の作者)の考えや見方が入り込まないよう注意。

自分の書評が、仮に著者に読まれても抗議を受けないよう、「フェア」な姿勢で書く。



②「評者自身のコメント」:

読み手自身の見方・考えを積極的に打ち出すもの。
。漠然とした「感想」ではなく、なぜ自分がそう思うのかを論理的に説明する。

【ブックレビューの基本構成】

導入部： 関心の引き寄せ



前半部： 図書内容の紹介



後半部： 評者自身のコメント



【前半部作成のための材料】





① 図書のオープニング部分：

「はじめに」「序」「まえがき」
「プロローグ」 など

この部分では、著者が「なぜこの本を書いたか」「何を述べようとしているか」「どのような視点からテーマを扱うか」など、図書内容の方向性を述べていることが多い。



② 図書のエンディング部分：

「おわりに」「結び」「あとがき」
「エピローグ」 など

この部分では、著者が最後に「一番言いたいこと」「さまざまな検討の末に到達した意見」など、図書の主要なメッセージを述べていることが多い。



③ 目 次

本全体で「どのような話題が盛り込まれているか」「どういった順序で論旨を展開しているか」など、
図書の具体的構成や論理構造が
見て取れる。

ブックレビューの実例

(『週刊読書人』より)

- ① 小川創一 『町の発明王』
評者： 武田徹 「発明による起業とは」
- ② イ・ヒャンジン 『韓流の社会学』
評者： 毛利嘉孝 「国境を越える女性たち」

